



NISSHA

**2022年12月期
決算説明会**

2023年2月14日

NISSHA株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者

鈴木順也

本日の内容

- 2022年12月期の実績
- 2023年12月期の見通しと中期の展望（～2025年）
- 株主還元
- サステナビリティへの取り組み

2022年12月期の実績

2022年12月期の実績

ハイライト

● Tailwinds

- ポートフォリオの組み換えが進展、医療機器、モビリティ、サステナブル資材が伸長
- 産業資材：加飾で増収、サステナブル資材で増収・値上げが進捗
- デバイス：モビリティ向けタッチセンサーやガスセンサーが拡大
- メディカルテクノロジー：CDMO（開発製造受託）が堅調、収益性が改善傾向（Q4）

● Headwinds

- 産業資材、メディカルテクノロジー：コストプッシュインフレが収益性を圧迫
- デバイス：タブレットで需要が調整局面（Q4）
- 欧米の金利引き上げにより割引率が上昇、産業資材（蒸着紙）で減損損失を計上

2022年12月期（通期）の実績

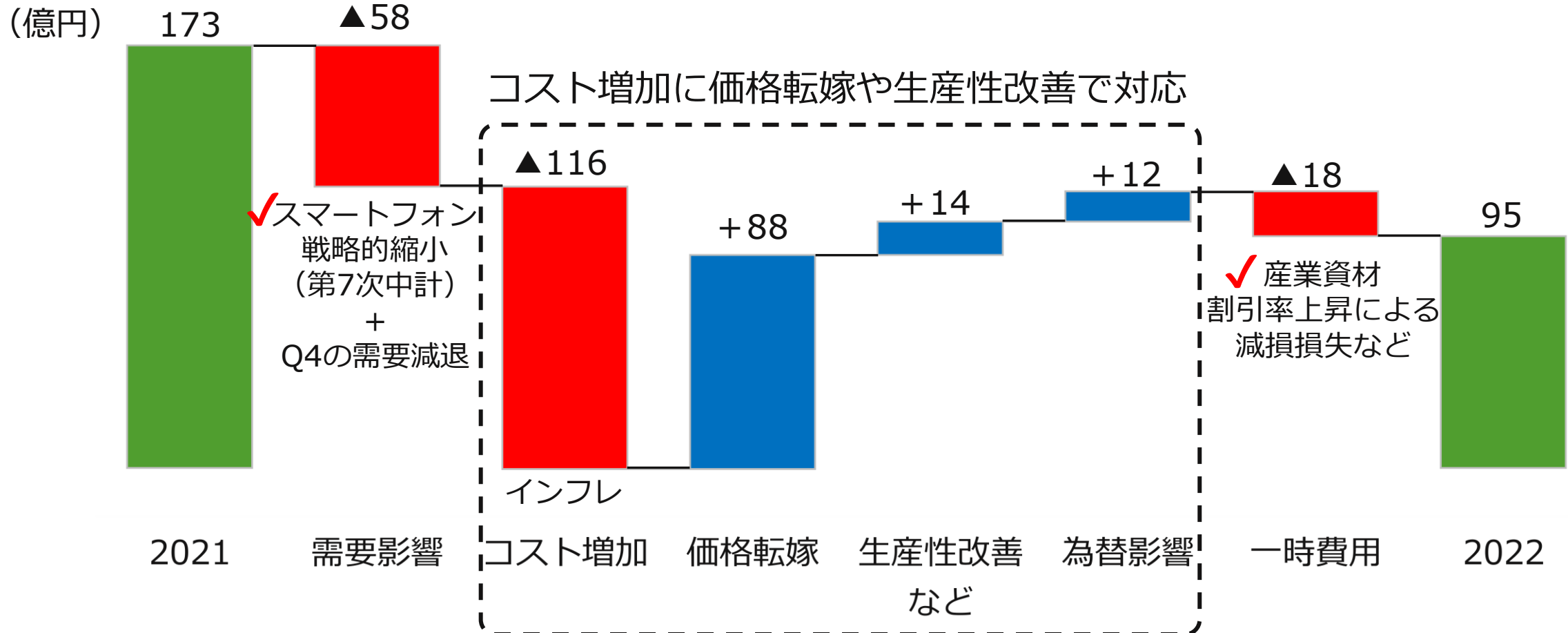
（百万円）

	2021 実績	2022	
		実績	前期比
売上高	189,285	193,963	+2.5%
産業資材	60,581	73,558	✓ +21.4%
デバイス	96,955	79,951	✓ ▲17.5%
メディカルテクノロジー	24,176	32,457	✓ +34.3%
その他	7,571	7,995	+5.6%
営業利益	17,363	※9,520	▲45.2%
営業利益率	9.2%	4.9%	-4.3pt
産業資材	5,155	※3,390	✓ ▲34.2%
デバイス	14,328	8,389	✓ ▲41.4%
メディカルテクノロジー	776	490	✓ ▲36.9%
その他	▲ 2,898	▲ 2,749	-
税引前利益	19,499	12,373	▲36.5%
親会社の所有者に帰属する当期利益	15,859	10,140	▲36.1%
為替レート	¥108/\$	¥128/\$	-

※減損損失など一時費用▲18億円含む

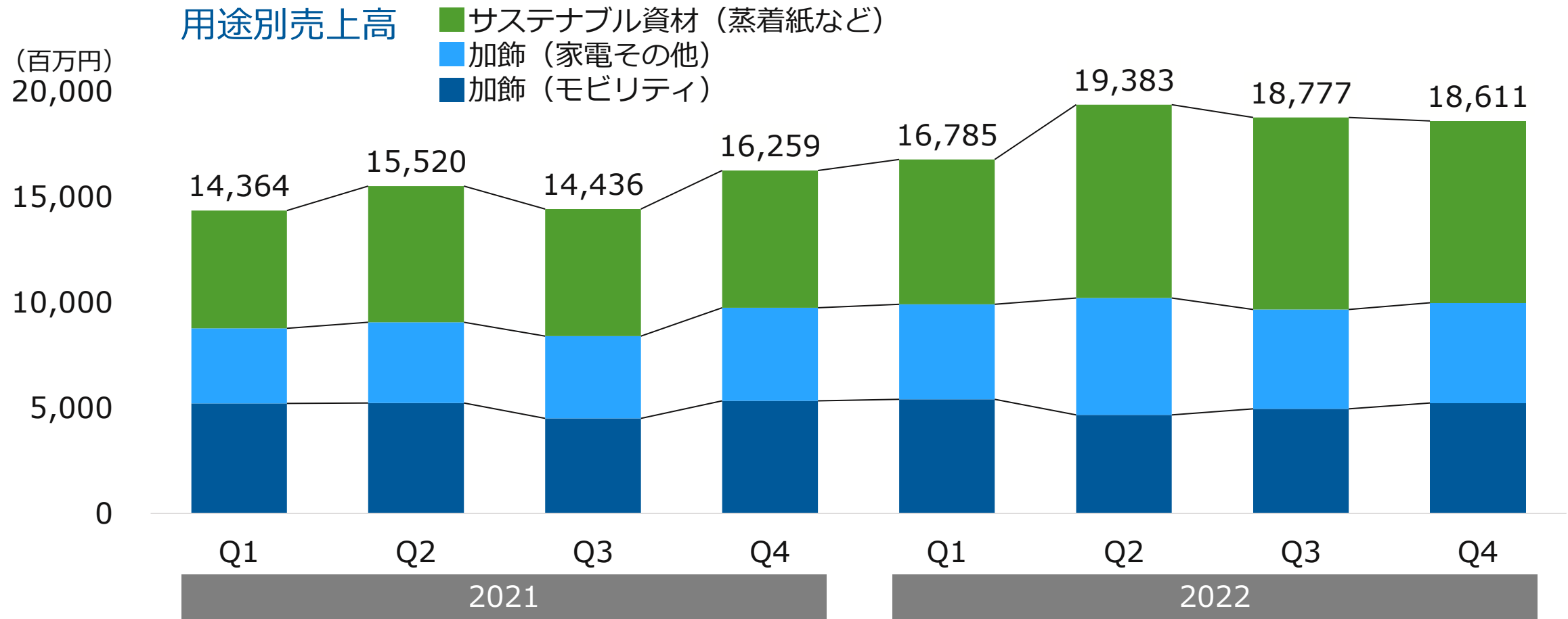
営業利益 増減分析（前期比）

- スマートフォンの減少と一時費用が減益の主要因



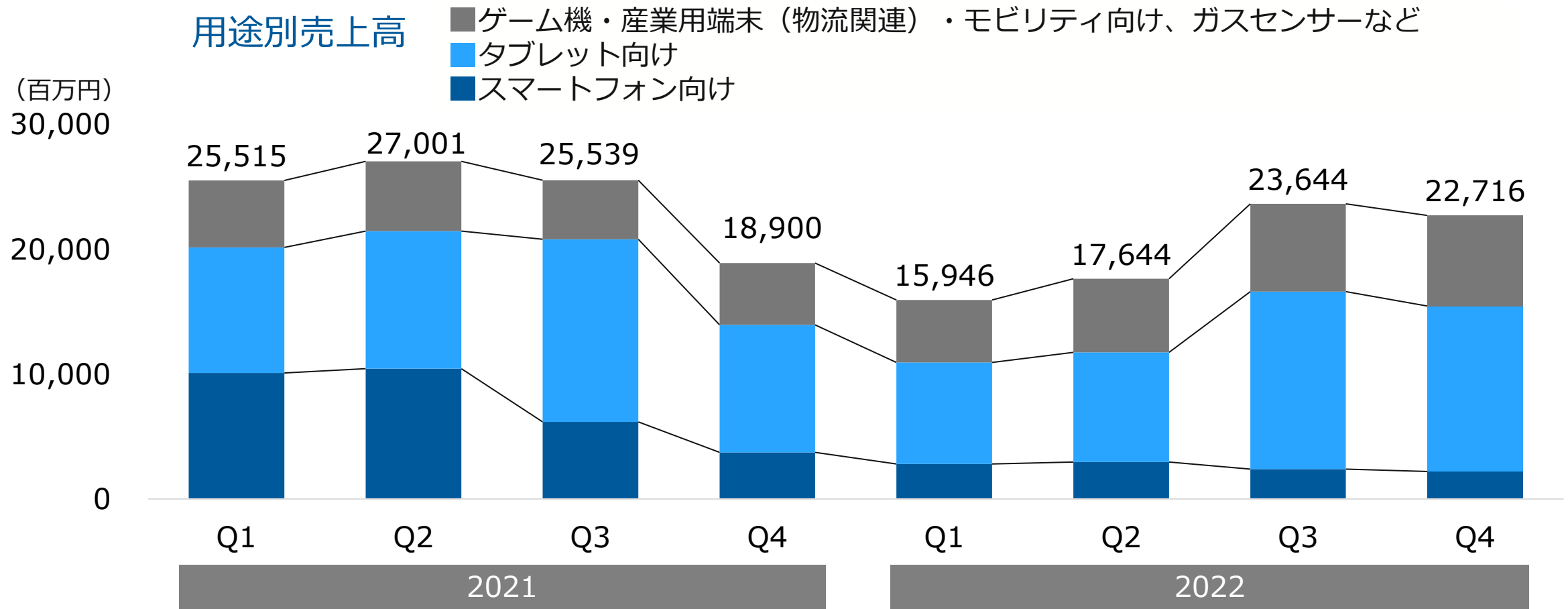
産業資材

- 加飾：モビリティ向けは2022Q2から回復継続
- サステナブル資材：需要底堅く、値上げが奏功



デバイス

- タブレット向けが需要の調整局面（12月以降）
- モビリティ向けフィルムタッチセンサー、ガスセンサーが拡大

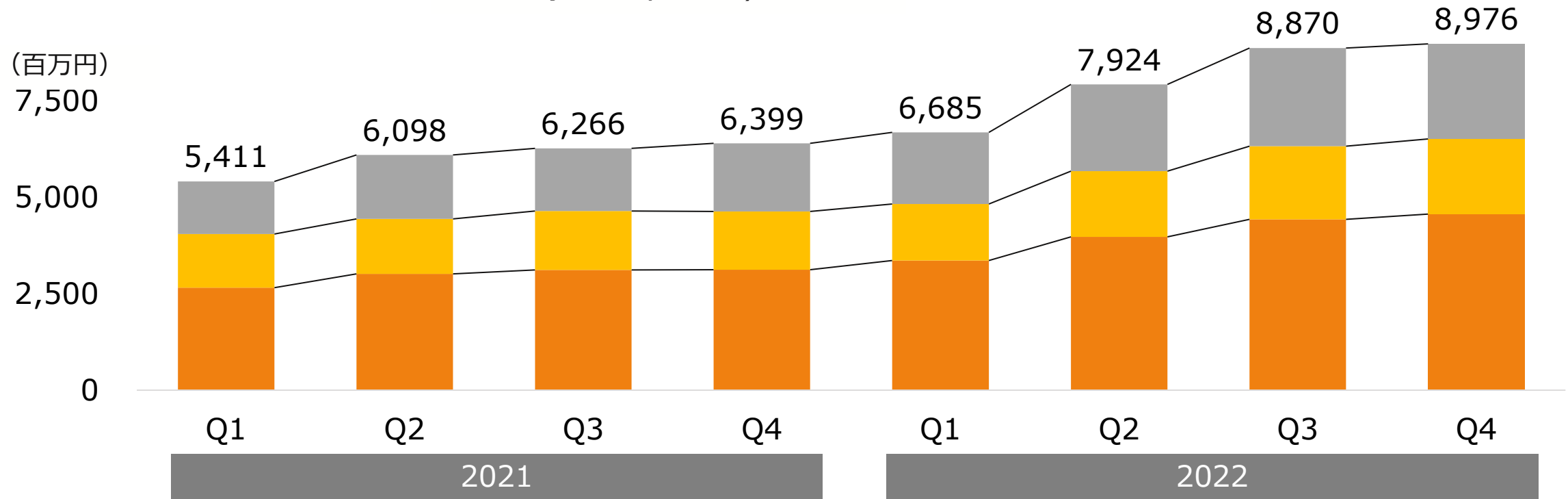


メディカルテクノロジー

- 医療機器CDMOは継続して拡大
- 消化器科向け手術器具が堅調

用途別売上高

- ビジネスメディア
- 医療機器（自社ブランド）
- 医療機器（CDMO）












2022年12月期 Q4（3カ月）の実績

（百万円）

	2021 Q4 実績	2022 Q3 実績	2022 Q4 実績	前年同期比 (2021 Q4比)		前四半期比 (2022 Q3比)	
売上高	43,752	53,165	52,581	+20.2%		▲1.1%	
産業資材	16,259	18,777	18,611	✓ +14.5%		▲0.9%	
デバイス	18,900	23,644	22,716	✓ +20.2%		▲3.9%	
メディカルテクノロジー	6,399	8,870	8,976	✓ +40.3%		+1.2%	
その他	2,192	1,872	2,276	+3.8%		+21.6%	
営業利益	1,906	3,412	※▲ 160	-		-	
営業利益率	4.4%	6.4%	-0.3%	-4.7pt		-6.7pt	
産業資材	1,173	1,136	※▲ 1,139	-		-	
デバイス	1,642	2,874	1,795	+9.3%		▲37.5%	
メディカルテクノロジー	18	150	✓ 338	+1755.3%		+124.8%	
その他	▲ 928	▲ 748	▲ 1,155	-		-	
税引前利益	2,581	4,400	▲ 1,576	-		-	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	1,327	3,914	▲ 1,677	-		-	
為替レート	¥111/\$	¥134/\$	¥143/\$				

2023年の見通しと中期の展望（～2025年）

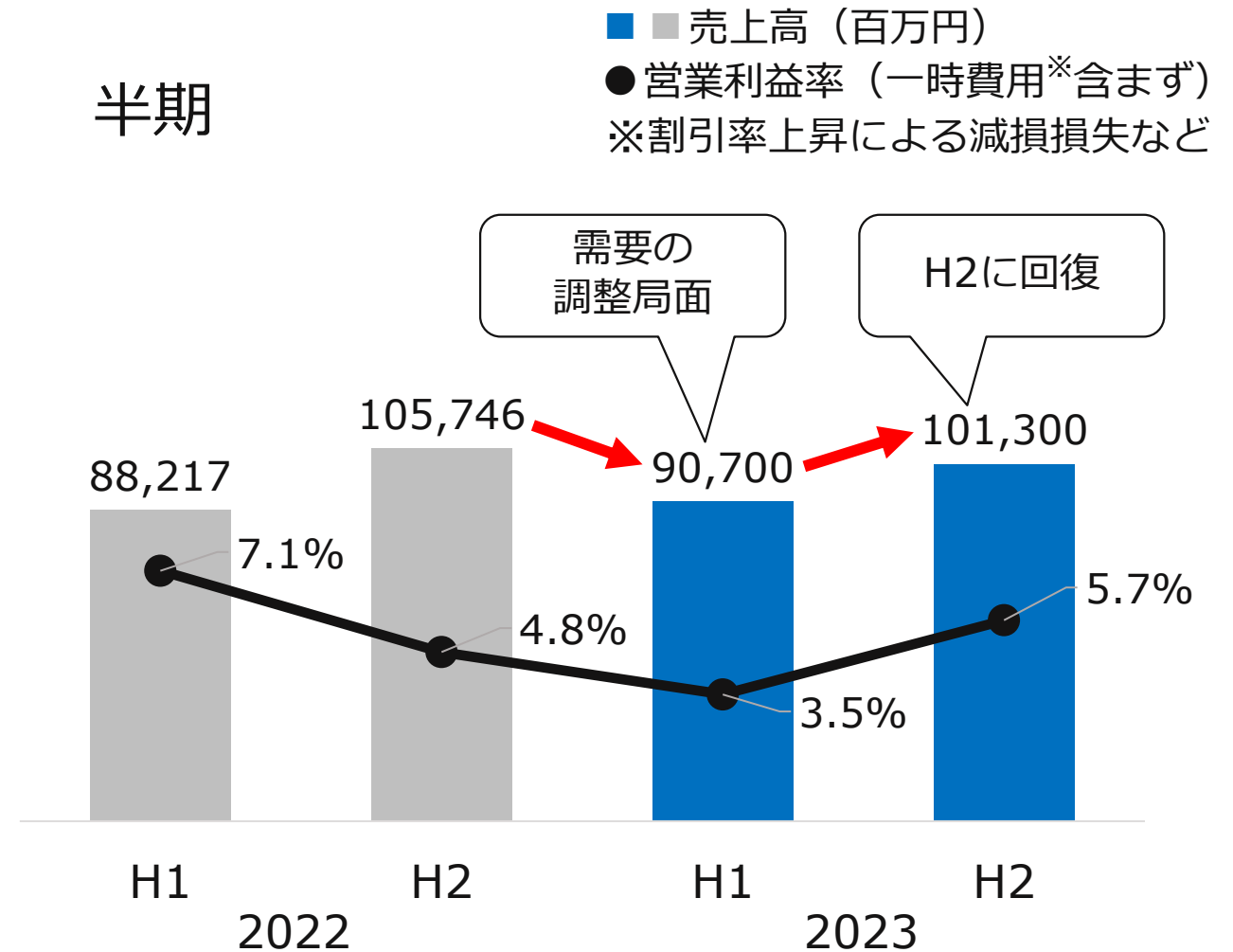
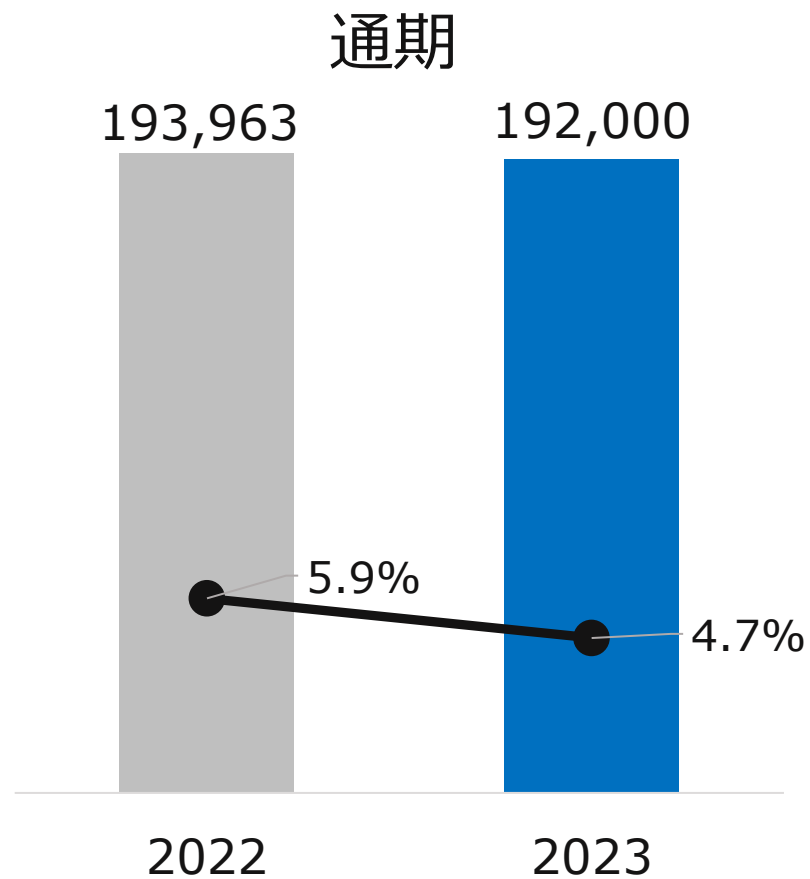
2023年見通しと中期の展望（～2025年）

事業	用途	2023見通し（2022年比）		中期の展望（～2025）	
産業資材	加飾（モビリティ）		供給制約の影響から緩やかに回復		CASEやカーボンニュートラルに関連する新製品が成長
	サステナブル資材		需要は安定 前年の値上げ効果が通年寄与		脱プラスチックのニーズ増大、 サステナブル成形品が成長 （医薬品向け）
デバイス	タブレット		H1は調整局面、H2に回復		需要は安定、 当社製品のグレードアップ
	モビリティ		既存車種の生産台数が増加		OLEDディスプレイ搭載車種が増加、 受注拡大
	ガスセンサー		アルコールチェッカーが拡大		空調機向け冷媒センサーの需要増加
メディカル テクノロジー	医療機器（CDMO）		CDMO市場が成長、 当社CDMOの売上高CAGR26.8% [※]		低侵襲医療用の手術機器でスマート化 のニーズ増大

※2020年-2023年

2023年 業績予想 全社

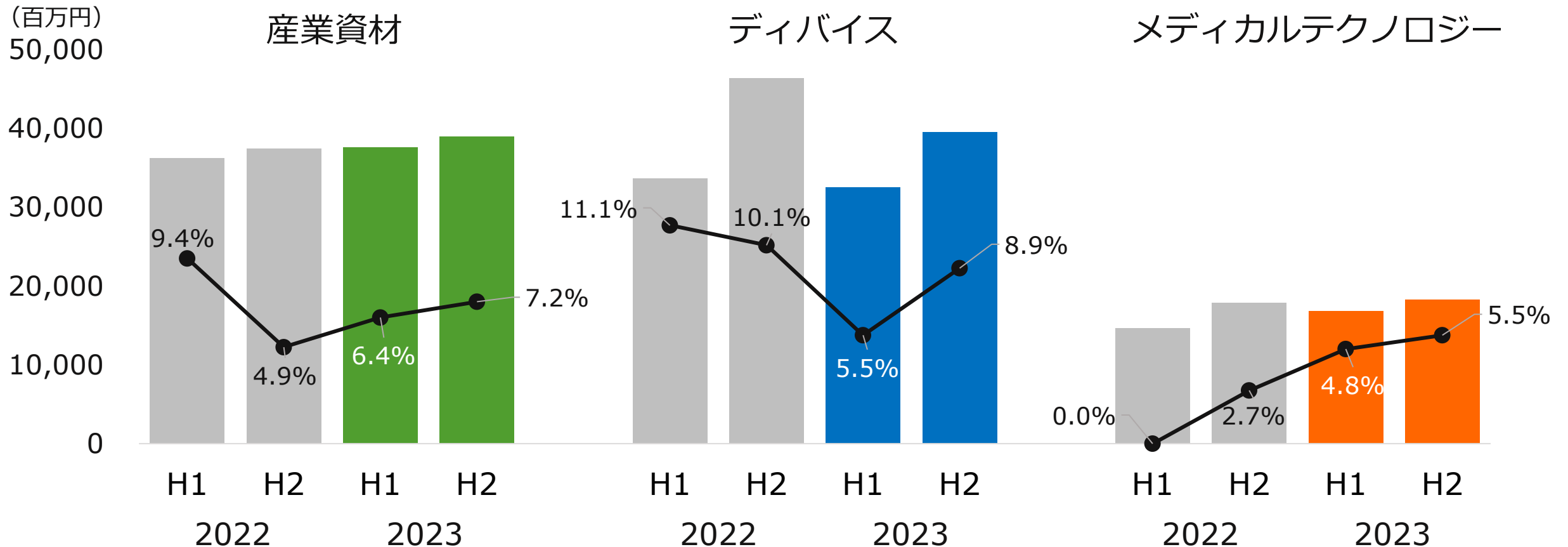
- H1はデバイスのタブレットで需要の調整局面に、H2は需要回復とともに収益性が改善



2023年 業績予想 事業別

- 産業資材：需要は底堅く推移、生産性向上を追求
- ディバイス：H2はタブレットの需要が回復
- メディカルテクノロジー：生産性・効率性向上を継続

■ ■ ■ ■ 売上高
● 営業利益率（一時費用*含まず）
*割引率上昇による減損損失など



2023年12月期 業績予想

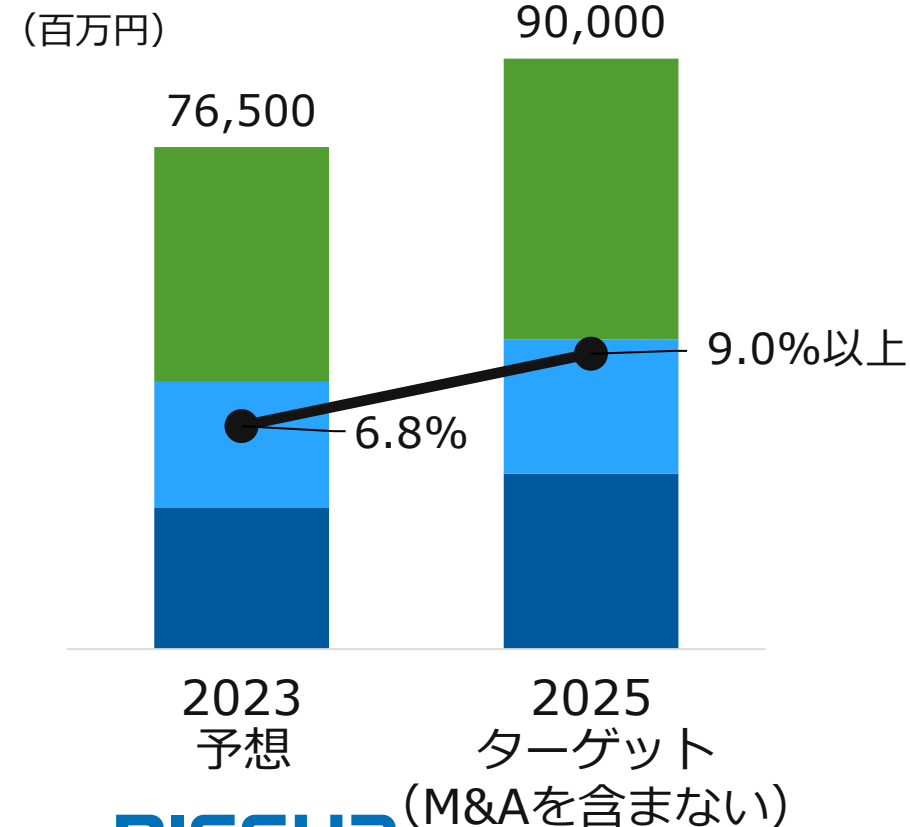
(百万円)

	2022 通期 実績	2023 通期 予想	2023		前期比
			H1 予想	H2 予想	
売上高	193,963	192,000	90,700	101,300	▲1.0%
産業資材	73,558	76,500	37,600	38,900	+4.0%
デバイス	79,951	72,000	32,500	39,500	▲9.9%
メディカルテクノロジー	32,457	35,000	16,800	18,200	+7.8%
その他	7,995	8,500	3,800	4,700	+6.3%
営業利益	9,520	9,000	3,200	5,800	▲5.5%
営業利益率	4.9%	4.7%	3.5%	5.7%	-0.2pt
産業資材	3,390	5,200	2,400	2,800	+53.4%
デバイス	8,389	5,300	1,800	3,500	▲36.8%
メディカルテクノロジー	490	1,800	800	1,000	+267.2%
その他	▲ 2,749	▲ 3,300	▲ 1,800	▲ 1,500	-
税引前利益	12,373	8,500	3,000	5,500	▲31.3%
親会社の所有者に帰属する 当期（四半期）利益	10,140	6,200	2,200	4,000	▲38.9%
為替レート	¥128/\$	¥130/\$	¥130/\$	¥130/\$	-

中期の展望（～2025年）：産業資材

- 既存製品は安定成長、新規の製品が成長を牽引
 - モビリティ：「外装加飾×機能」の生産設備に約30億円を投資（ドイツ）
 - サステナブル資材：「サステナブル成形品」の生産能力の拡充に約7億円を投資（ドイツ）

■ サステナブル資材 売上高 ■ 加飾（家電その他）売上高
■ 加飾（モビリティ）売上高 ● 営業利益率



NISSHA

(M&Aを含まない)

モビリティ

内装加飾（既存）

+

外装や加飾×機能（新規）

CASEの進展、カーボンニュートラルの加速で需要増加

サステナブル資材

蒸着紙（既存）

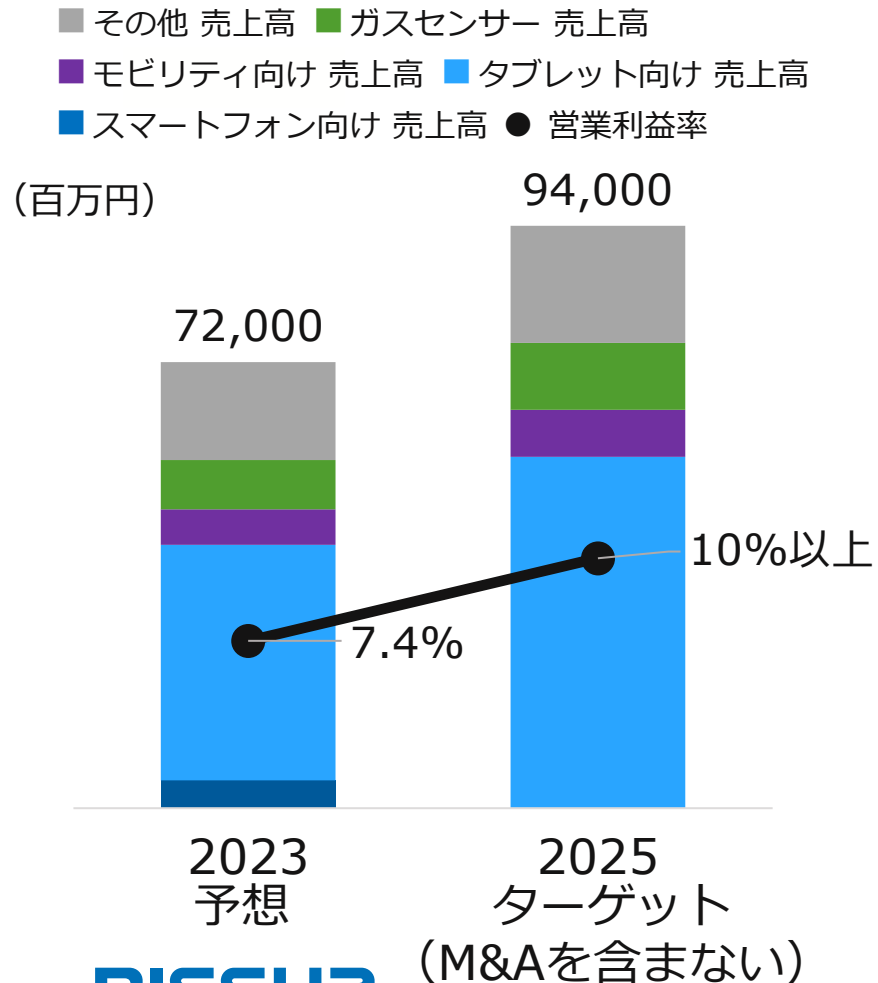
+

サステナブル成形品（新規）

脱プラスチックに貢献

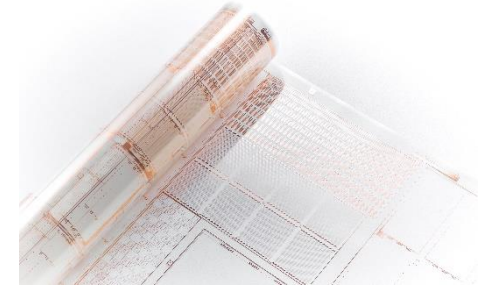
中期の展望（～2025年）：デバイス

- タブレットとガスセンサーの事業機会の拡大により再成長



タブレット

- 2024～：当社製品のグレードアップにより売上高増加の見通し



ガスセンサー

既存



空気清浄機・ガス漏れ検知器
などに搭載

普及期に移行

+



アルコールチェッカー
(安全運転促進)

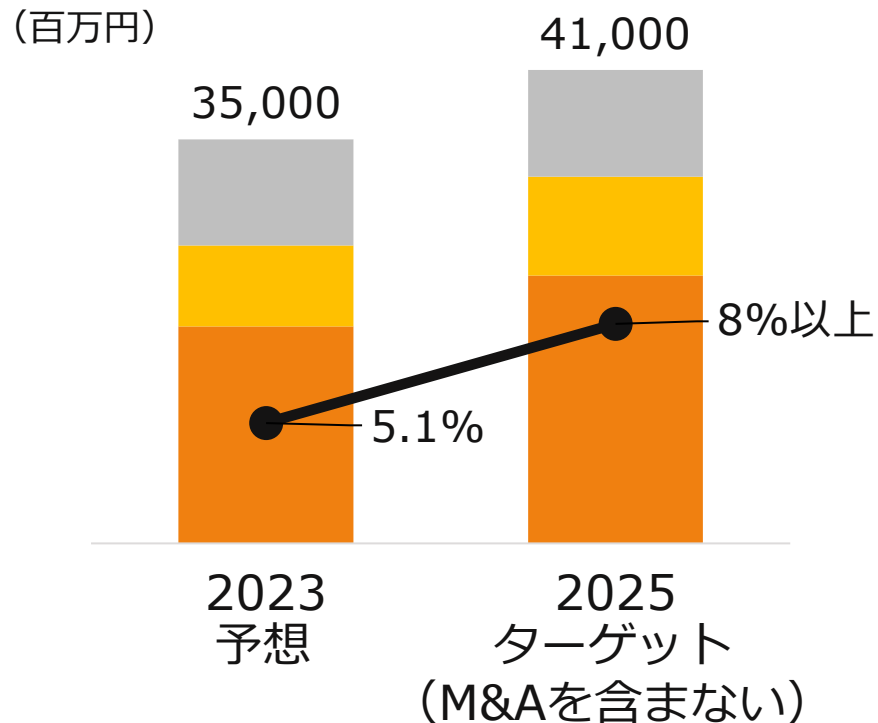


空調機向け冷媒センサー
(代替フロン漏えい検知)

中期の展望（～2025年）：メディカルテクノロジー

- 医療機器CDMO：低侵襲医療用の手術機器でスマート化が事業機会
 - M&A：技術、開発・設計能力の拡充に約200億円を投資

■ ビジネスメディア 売上高
 ■ 医療機器（自社ブランド）売上高
 ■ 医療機器（CDMO）売上高 ● 営業利益率

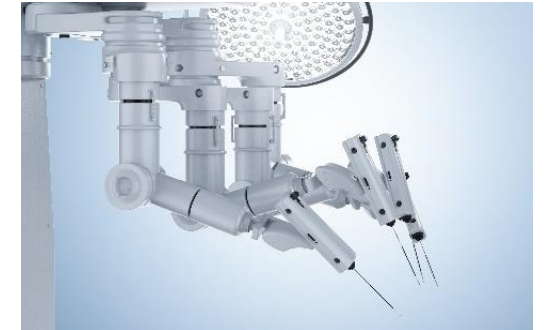


低侵襲医療用の手術機器



スマート化を実現する
技術、開発・設計能力をM&Aで獲得

手術ロボット



スマートデバイス



スマート化

2030年に向け、市場ポートフォリオが進化

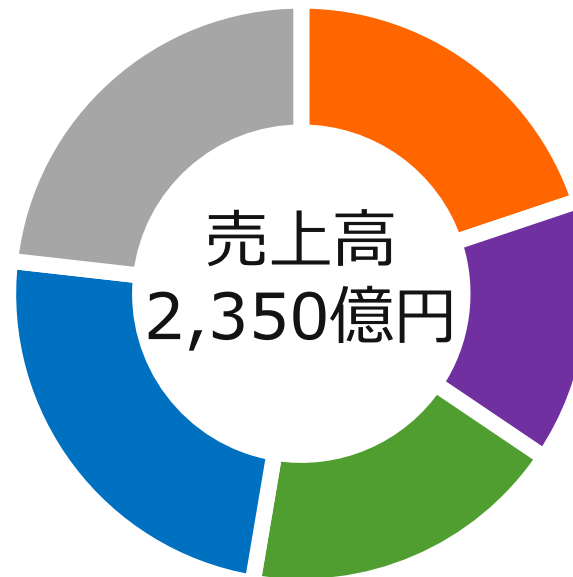
■ メディカル
 ■ モビリティ
 ■ サステナブル資材
 ■ IT機器
 ■ その他

2020年



→
CAGR
5.5%

2025年
ターゲット



→
CAGR
5.0%

2030年
サステナビリティビジョン



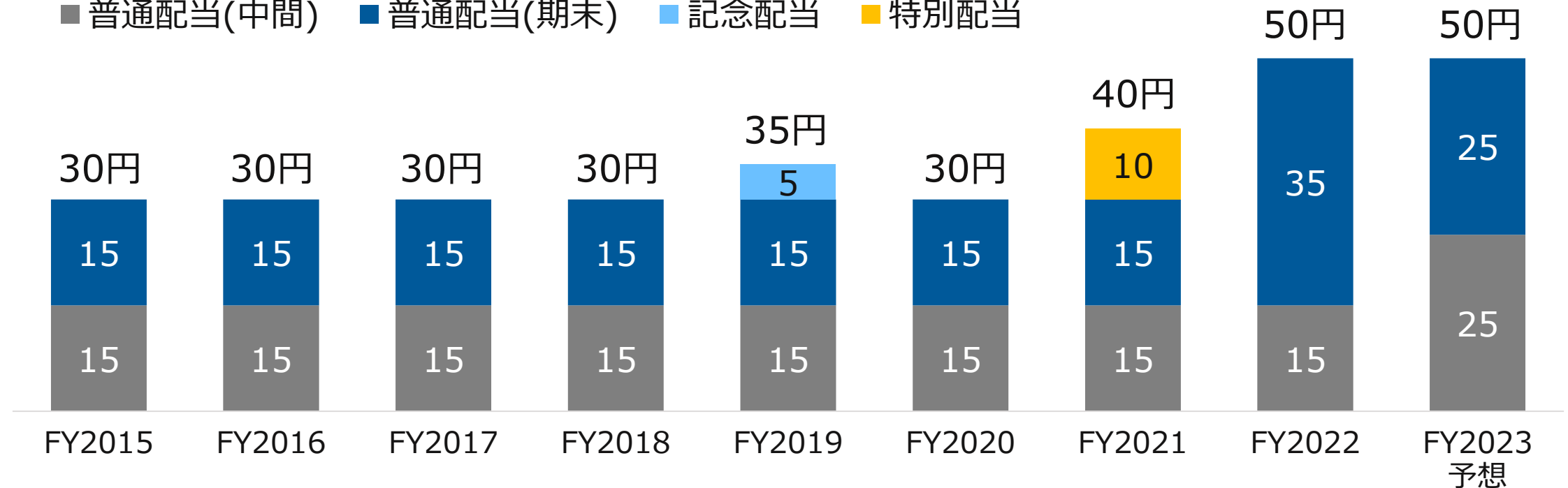
株主還元

配当

- ポートフォリオの組み換えが進展、1株当たりの年間配当金は50円を継続予定

1株当たり年間配当金

■ 普通配当(中間) ■ 普通配当(期末) ■ 記念配当 ■ 特別配当



自己株式の取得

- 2022年11月10日、自己株式の取得を公表
 - 理由：株主還元、資本効率の向上

概要

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得方法	東京証券取引所における市場買付
取得する株式の総数	1,100,000株（上限）
株式の取得価額の総額	2,500百万円（上限）
株式の取得期間	2022年11月11日～2023年3月31日

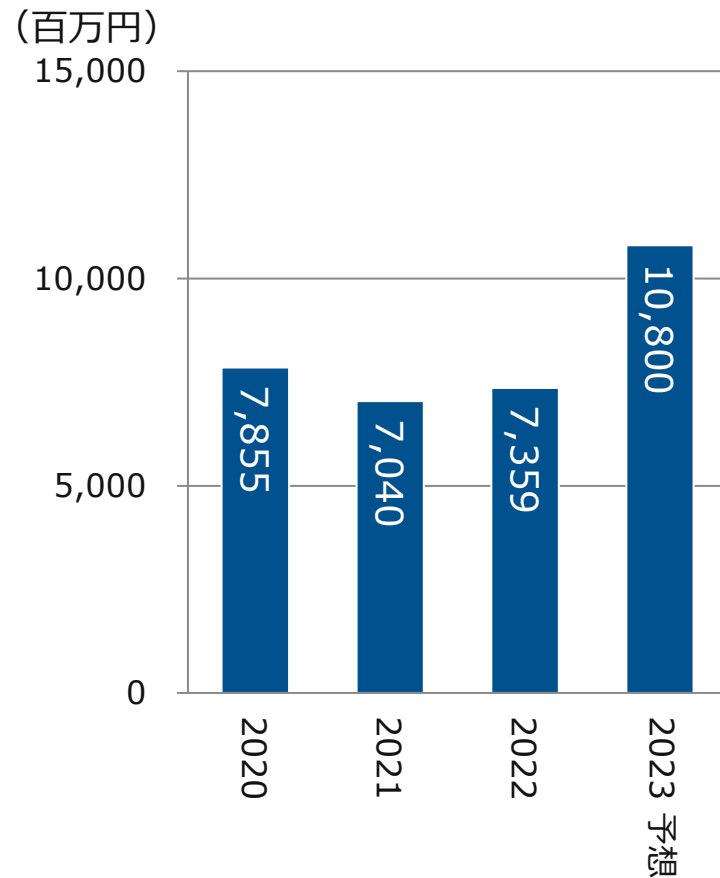
取得状況

取得した株式の総数	724,300株
株式の取得価額の総額	1,314百万円

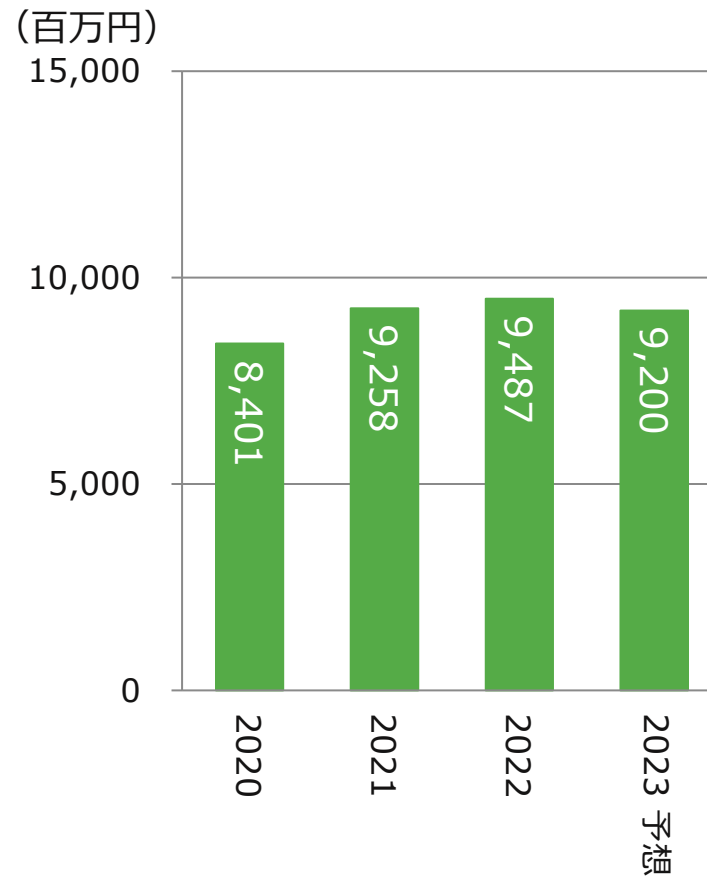
（2023年1月31日現在）

設備投資・減価償却費及び償却費・研究開発費

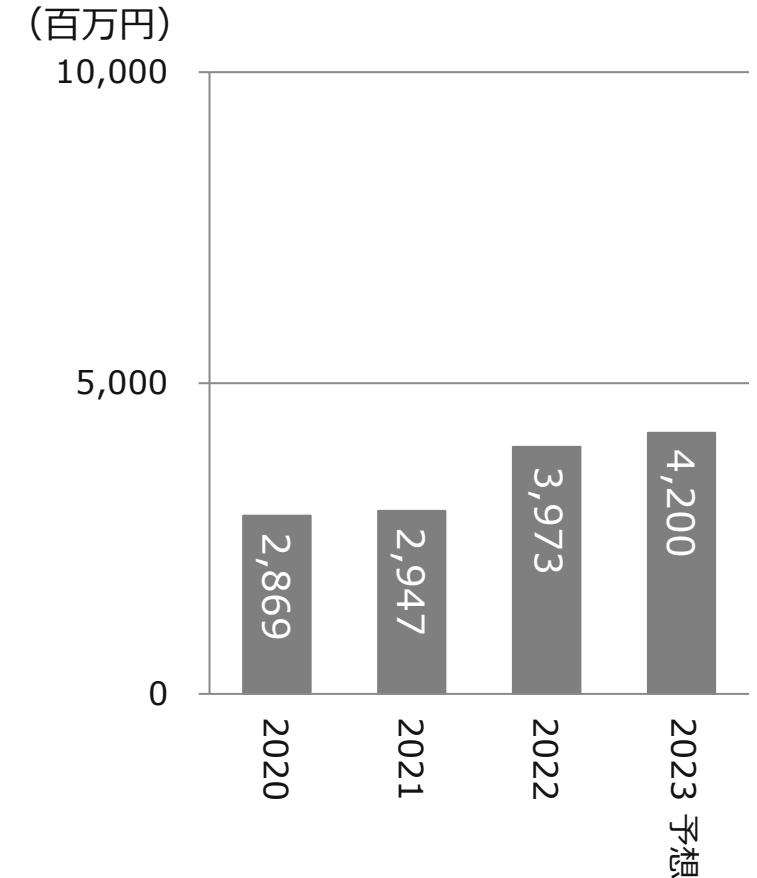
設備投資



減価償却費及び償却費



研究開発費



サステナビリティへの取り組み

ESG推進部
副部長 吉田尚子

気候変動への取り組み

- 2030年に向け、CO2総排出量を30%削減計画（2020年比）
- 2023年の投資：約5億円

● 工場の再エネ化

- 産業資材
 - 再生可能電力に100%転換
 - 蓄熱式脱臭装置を導入（ガス使用量の削減）
- ディバイス
 - 再生可能電力に100%転換予定（2023年）

産業資材



甲賀工場

ディバイス

● 情報開示（TCFD）

- ディバイス事業で実施（2022年）
- 産業資材事業で実施予定（2023年）



加賀工場



姫路工場

人的資本

●研修体系「Nissha Academy」の充実・グローバル展開

- 重点市場向けリスキリング：ポートフォリオの組み換えに連動
- グループ会社への展開
 - 国内工場でもビジネススクールを開講（2022年10月）
 - 海外グループ会社でESG研修を実施（2022年11月）



Nissha Academy
2013年創設

●成果を出す社員を後押し

- 能力と役割を重視する人事制度へ移行（2020年7月）
- 給与水準の向上策（2023年1月）
- DX推進による効率性・生産性の向上（2020年～）



社員表彰制度
2023年改定

●社員表彰制度の充実・グローバル展開

(参考) ESGに対する当社の外部評価

ESG評価機関の評価



- CDP: 気候変動レポート2022において「B」評価



- MSCI ESG Ratings 「A」 評価

インデックスへの組み込み



- FTSE Blossom Japan Index
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index



- S&P/JPX Carbon Efficient Index



- SOMPO サステナビリティ・インデックス
 - 2012年より連続

認定



2022
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

- 健康経営優良法人ホワイト500



- プラチナくるみん認定
 - 2019年認定

(ご参考)
 設備投資・減価償却費及び償却費・M&A投資・
 研究開発費 (2022年)

(百万円)

	第1四半期 (1-3月) 実績	第2四半期 (4-6月) 実績	第3四半期 (7-9月) 実績	第4四半期 (10-12月) 実績
設備投資	1,784	2,214	1,756	1,602
減価償却費 及び償却費	2,280	2,370	2,411	2,424
M&A投資	-	151	-	-
研究開発費	842	1,049	984	1,095

本プレゼンテーションに掲載されている情報および決算説明会・カンファレンスで提供される情報のうち業績の目標、計画、見通し、戦略、その他過去の事実ではない情報については、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含みます。実際の業績は、経済動向、市場需要、為替の変動などのさまざまな要因によって大きく変わる可能性があります。